

MATCH DAY PROGRAM



JリーグYBCルヴァンカップ

3.6 WED
19:00 Kick Off
vs 水戸ホーリーホック



Tak 50

MF 50 Takahiro NAKAZATO
中里 崇宏



Y.S.C.C. PLAYERS

1 GK Ryosuke SAGAWA 佐川 亮介 1993.7.17 出身地：東京都 前所属：拓殖大	2 DF Minoru HANAFUSA 花房 稔 1996.7.30 出身地：東京都 前所属：国士館大	3 DF Takuya FUJIWARA 藤原 拓也 1992.12.18 出身地：徳島県 前所属：ガイナレ鳥取	4 MF Kento DODATE 土館 賢人 1992.8.23 出身地：神奈川県 前所属：いわてグルージャ盛岡	5 DF Haruki OSHIMA 大嶋 春樹 2000.7.11 出身地：兵庫県 前所属：中京大	6 MF Diego TABA 田場 ディエゴ 1996.5.31 出身地：神奈川県 前所属：国士館大	7 MF Atsushi KIKUTANI 菊谷 篤資 1997.6.18 出身地：千葉県 前所属：FCバイエルンアルツェナウ	8 MF Yutaro YAMAGI 柳 雄太郎 1995.9.18 出身地：千葉県 前所属：明海大
9 FW Yusei KAYANUMA 萱沼 優聖 1993.8.6 出身地：山梨県 前所属：ヴァンラーレ八戸	10 MF Ryotaro YAMAMOTO 山本 凌太郎 1998.12.7 出身地：千葉県 前所属：横浜FC	11 FW Jorn PEDERSEN ピーターセン 世稔 1997.12.12 出身地：東京都 前所属：慶應義塾大	13 FW Luqman HAKIM ルクマン ハキム 2002.3.5 出身地：マレーシア 前所属：KVコルトレイク	14 MF Ryohhei WAKIZAKA 脇坂 峻平 1998.12.27 出身地：神奈川県 前所属：新潟医療福祉大	15 MF Yasuto FUJITA 富士田 康人 2000.12.16 出身地：福岡県 前所属：日本体育大	16 GK Jun KODAMA 児玉 潤 1997.9.8 出身地：東京都 前所属：福山シティFC	17 DF Takuma HASHINO 端野 拓馬 2002.2.18 出身地：神奈川県 前所属：上武大
18 MF Jukiya FUJISHIMA 藤島 樹騎也 1996.8.26 出身地：三重県 前所属：FCマルヤス岡崎	19 DF Shawn VANEERDEN ヴァンイヤーデン ショーン 2004.4.16 出身地：神奈川県 前所属：横浜FC	20 MF Yusei OTAKE 大竹 悠聖 2000.7.13 出身地：熊本県 前所属：桐蔭横浜大	22 MF yushin OTAKE 大竹 優心 2005.7.17 出身地：新潟県 前所属：アルビレックス新潟	23 MF Hiroto DOMOTO 道本 大飛 1998.12.6 出身地：神奈川県 前所属：Y.S.C.C. セカンド	25 DF Shunta NISHIYAMA 西山 峻太 1989.7.25 出身地：神奈川県 前所属：国士館大	26 DF Hiroto OKOSHI 大越 寛人 2000.9.19 出身地：埼玉県 前所属：桐蔭横浜大	27 DF Wataru YAMAKURA 山倉 渉 2005.7.17 出身地：東京都 前所属：アルビレックス新潟U-18
28 FW Gbevegnon HIDAKA Alexandre ベニョン 日高 アレクサンドル 2000.4.9 出身地：神奈川県 前所属：Y.S.C.C. セカンド	30 MF Shuto KOJIMA 小島 秀仁 1992.7.30 出身地：栃木県 前所属：ジェフユナイテッド千葉	31 GK Michiya OKAMOTO 岡本 享也 1995.5.17 出身地：神奈川県 前所属：FC岐阜	32 FW Koki MATSUMURA 松村 航希 1996.5.24 出身地：兵庫県 前所属：藤枝MYFC	33 MF Rikuto HISHIMOTO 橋本 陸斗 2005.4.2 出身地：東京都 前所属：東京ヴェルディ	39 MF Koji OKUMURA 奥村 晃司 1998.7.29 出身地：埼玉県 前所属：ザスパクサツ群馬	50 MF Takahiro NAKAZATO 中里 崇宏 1990.3.29 出身地：東京都 前所属：鈴鹿ポイントゲッターズ	67 FW ONYE OGOCHUKWU PROMISE オニエ オゴチュクウ プロミス 2002.3.13 出身地：ナイジェリア 前所属：高知中央高校

水戸ホーリーホック



監督：濱崎 芳己

1 GK 本間 幸司	33 DF 牛澤 健	24 MF 山崎 希一
21 GK 松原 修平	35 DF 飯泉 涼矢	32 MF 碓 明日麻
41 GK 中山 開帆	42 DF 石井 隼太	38 MF 齋藤 俊輔
51 GK 春名 竜聖	88 DF 長井 一真	77 MF 井上 怜
2 DF 後藤田 亘輝	6 MF 高岸 憲伸	9 FW 安藤 瑞季
3 DF 大崎 航詩	7 MF 新井 晴樹	11 FW 草野 侑己
4 DF 山田 奈央	8 MF 落合 陸	20 FW 梅田 魁人
5 DF 楠本 卓海	10 MF 前田 椋介	22 FW 久保 征一郎
16 DF 田平 起也	13 MF 野瀬 龍世	30 FW 得能 草生
18 DF 尾野 優日	14 MF 杉浦 文哉	45 FW 寺沼 星文
19 DF 村田 航一	15 MF 長尾 優斗	49 FW 内田 優晟
27 DF 沖田 空	23 MF 甲田 英將	

2024 YBCルヴァンカップ 1stラウンド トーナメント表



ルヴァンカップの情報はこちら



TODAY'S EVENT

17:40～17:50

ルヴァンカップキッズイレブン

【場所】ホームゴール裏タータンにて実施



「ルヴァンカップキッズイレブン

Y.S.C.C.といっしょにファイナルを目指そう！」を開催！

18:15頃

サインボール投げ

【場所】メインスタンド・ホームゴール裏



ピッチ内アップ入場時に選手がサインボールを投げ込みます

開門後17:00～

先着840名様に『ブランケット』プレゼント！ 配布場所：メインゲート/ホームゴール裏ゲート

2024 JリーグYBCルヴァンカップ
特製ブランケット
先着840名様に
プレゼント

【配布場所】ホームゴール裏ゲート、メインゲート

座席図

バックスタンド



前節の結果



明治安田
J3 LEAGUE

第2節 2024年3月3日(日)

14:00ko ニッパツ三ツ沢球技場



0-2



ホームゴール裏 バックスタンド

GOURMET MENU



ケバブサン	¥700	あつまめケバブ	¥700
ケバブアラブ	¥1,000	チーズハットク	¥600
ケバブ丼	¥1,000	ロングポテト	¥700



TAYFUN KEBAB

GOURMET MENU



ほろほろチキンライス	¥900	肉汁フランク	¥500
No.1ステーキライス	¥1,200	プレッツェルドッグ	¥400
W盛りセット	¥1,000		



ENKEI FOOD&WHEELZ

メインコンコース

横浜食品



GOURMET MENU



フランクフルト	¥600	ポテト	¥400
から揚げ (大)	¥1,000	ビール	¥500
から揚げ (小)	¥600	他アルコール	¥500
牛カルピス	¥800		
タン塩串	¥800		



あぶり屋

GOURMET MENU



からあげ弁当 (4~5種)	¥900	チョコス	¥400
からあげ単品 (4~5種)	¥700	ビール	¥500
フライドポテト	¥600		



ごっさむ

横濱蔵出し



お土産や観戦中でも食べやすい
スティックチーズケーキ!!!

GOURMET MENU



醤油ラーメン	¥900	ローストポーク丼	¥900
油そば	¥900	アメリカンドッグ	¥350
汁なし担々麺	¥900	フランクフルト	¥350



つじ道ラーメン

GOODS INFORMATION ホームゴール裏に出店

Y.S.C.C. 選手缶バッジ 2024

全31選手 1回300円

Y.S.C.C. アクリルキーホルダー ガチャ

グッズ売店に設置 全32選手 1回 500円

横濱 Y.S.C.C.

ツインメガホン 1,400円

フラッグLサイズ 2,900円



一第4節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
3.16 土
 vs FC今治 14:00kick off

一第8節 AWAY
 Pikaraスタジアム
4.7 日
 vs カタマーレ園城 14:00kick off

一第12節 AWAY
 ミクニワールドスタジアム北九州
5.3 金・日
 vs ギラヴァンツ北九州 14:00kick off

一第16節 AWAY
 長野Uスタジアム
6.8 土
 vs AC長野パルセイロ 18:00kick off

一第1節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
2.25 日
 vs カターレ富山 14:00kick off

一第5節 AWAY
 タビック黒鷲ひやこんスタジアム
3.20 水・金
 vs FC琉球 15:00kick off

一第9節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
4.10 水
 vs 大宮アルディージャ 19:00kick off

一第13節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
5.6 月・金
 vs SC相模原 14:00kick off

一第17節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
6.15 土
 vs FC岐阜 18:00kick off

一第2節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
3.3 日
 vs FC大阪 14:00kick off

一第6節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
3.24 日
 vs ガイナーレ鳥取 14:00kick off

一第10節 AWAY
 金沢ゴージャススタジアム
4.14 日
 vs ツエーゲン金沢 14:00kick off

一第14節 AWAY
 いわぎんスタジアム
5.18 土
 vs いわてグルージャ盛岡 14:00kick off

一第18節 AWAY
 プライフーズスタジアム
6.23 日
 vs ヴァンラーレ八戸 14:00kick off

一第3節 AWAY
 サンプロ アルウィン
3.9 土
 vs 松本山雅FC 14:00kick off

一第7節 AWAY
 とうほう・みんなのスタジアム
3.31 日
 vs 福島ユナイテッドFC 14:00kick off

一第11節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
4.27 土
 vs 奈良クラブ 14:00kick off

一第15節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
6.2 日
 vs テグバジャー口宮崎 14:00kick off

一第19節 HOME
 ニッパツ三ツ沢球技場
6.29 土
 vs アスルクラロ沼津 18:00kick off

NEXT GAME **AWAY** サンプロアルウィン **3.9 SAT 14:00KO** vs 松本山雅FC

横浜フットボール今昔～唐井直SFP～



Jリーグが未だなかった37年前。
 中区スポーツ少年団から育った若者たちが横浜の地に小さな種を播きました。
 それから37年間、横浜スポーツ&カルチャークラブ(Y.S.C.C.)は町クラブとして歩みを進め、2014年には新たに創られたJ3創設メンバーとしてプロリーグ参入を果たし、本年10年目の節目の年を迎えました。
 Y.S.C.C.創設に関わった一人の私は、一旦は、サッカー界を離れましたが、その後Jリーグ設立と共にプロサッカークラブの強化担当、GMとして、清水エスパルス、ヴェルディ川崎(東京ヴェルディ)、ジェフユナイテッド千葉、FC町田ゼルビアで経験を積み、今般、Y.S.C.C.に戻って参りました。
 フットボールと共に生きる年長者(Senior Football People)としてホームゲーム毎に、フットボールのいま、むかしを綴りたいと思います。

3月6日(水) ルヴァンカップ 水戸戦 一ジャイキリー

今年からルヴァンカップのレギュレーションが変わり、J3も総当たりでのカップ戦参加となった。
 本日はJ2、水戸ホーリーホックとの一戦。
 チームの成長を測る上で試金石となる上位カテゴリーとの対戦。下位カテゴリーのチームのホーム(ニッパツ)で戦えるのも、粋なレギュレーション。
 FAカップは1871年創設の世界最古のカップ戦で、プロ、アマ問わず、イングランド協会所属チームが参加できる大会。
 しばしばジャイアントキリングと言われる。下位カテゴリーのチームが上位を破ることがあるのも大会の楽しみ。
 例えば5部のクラブがマンチェスター・ユナイテッドをホームに迎えてFAカップを戦える。
 第一戦、オールド・トラフォードで7万近い観衆を前に引き分けた、ご縁の深いスティーブ・ベリマンさん(元清水エスパルス監督)がダイレクターであったExeter Cityが
 2005年1月19日、FAカップ3回戦リプレイ(再戦)で、ホーム、セントジームズパークにマンユを迎え撃った。(観衆は満員の9千人) ジャイキリーはならなかったが、アレックス・ファーガソン監督は、クロロナ、ルーニーのゴールでこの決勝を乗り切り、カップ・ウィナー(優勝)となった。
 下位ホームでの試合。日本で、当たり前になったのはそんなに遠い話ではなく、町田ゼルビアが浦和レッズと天皇杯で戦った2015年には、浦和が用意した熊谷陸上競技場(埼玉スタジアム)を使い、もし、野津田陸上競技場を使えば、例え赤一色に染まったとしても、レッズを町田のホームで観られるという至福の時間を過ごせたチャンスは失った。
 フットボールの普及、活性化、そして文化に高めるためにも、おらが町にJ1のビッグクラブが来訪するというのは、千載一遇のチャンスではないか。
 こんな当たり前のこと、クラブの現場を知っていれば出来ることも、行われていなかった。
 今、クラブに属する若いスタッフ諸君も、協会、リーグの設けが当たり前ではなく、常に、何が大切かという視点で問いかけを続け、常識、前例に捕らわれず取り組んで欲しい。
 かつて、94年に始まったJリーグは、“前例のない”ことからの取り組みであったこと忘れてはならない。
 リーグも31年目を迎え、構成もJ1からJ3まで60クラブと水平拡大、地方までの普及という大きな成果は上げた。一方で、プレミア化という、アジアの盟主たるに値するビッグクラブを育てるという目標達成のためには、全てのカテゴリーのガバナンスは、もはや一元的な管理体制では難しい時代。
 地方創生、活性化、社会課題の解決に資する、J2、J3のクラブの存在意義。一方で、豪華報酬、スポーツエンタテインメントとして、質、量ともにもっと高めて行かなければならないJ1とでは、差別されたガバナンスが求められる。競合相手は、プロ野球、音楽ビジネスなどなど、劇場空間を共有できる上質なエンタテインメントとして価値向上を図る。おかれている立場が異なることを明確に、自己規定する。
 それを束ねるリーグの側にも、司令塔(ヘッドクォーター)としての役割、責任を果たすべく、制度設計を担うことが使命であろう。
 とすれば、肥大化した組織にありがちな現場を知らない、“優秀”と言われる人々が、届かない言葉で現場にご指導を賜る光景は見たくない。
 我々、J3のクラブは、もっと町に出ること、リーグ事務局ももっとクラブの現場を知ること。同じ横浜市中区を拠点とするB3横浜エクセレンスの桜井社長は、地域からのホームタウン活動のリクエストには“絶対に断るな”と傲を飛ばしている。見習わなければならない。

